

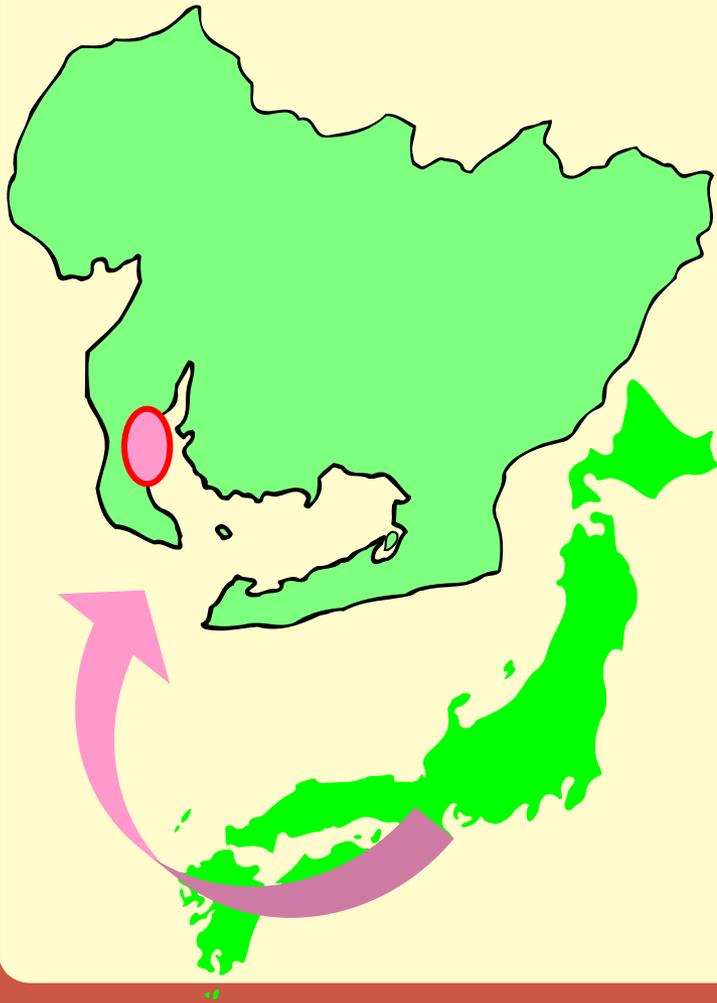


# 武豊町 憩いのサロン

地域と協働で進める  
介護予防

楽しく、無理なく、介護予防

# 愛知県武豊町



人口 42,517人  
面積 約26km<sup>2</sup>  
高齢化率19.7%  
認定率 11.9%

- ・名古屋から40分
- ・臨海部工業地帯

# 高齢者の地域特性

- ・ 後期高齢者の割合少  
H22.3全国52.4% 武豊38.8%
- ・ 重度認定者の割合少  
H22.3全国6.3% 武豊3.5%

→若くて元気な高齢者が多い

# 事業の特色

## 大学と共同研究

介護保険制度導入時から定期的に一般高齢者への調査実施  
事業計画策定にも参画

→追跡調査・分析が容易  
事業立ち上げから記録

# 参加実績



	H19	H20	H21	H22
延べ開催回数（回）	39	66	91	109
実参加者数（人）	401	583	637	727
延べ参加者数（人）	2,341	4,553	5,223	6,441
一般高齢者参加率（%）	8.3	8.4	8.7	9.9

事業前（H18）の予防事業参加実人数98人

# 参加者の横顔



- ・ 70代が過半数
- ・ 半数が年5回以上参加  
年10回以上も3割

「健康のため」

「会場外でも交流」

「元気でも保険料が活用」

A colorful illustration of a family walking in a park. In the foreground, an elderly woman with glasses and a purple top walks next to an elderly man with glasses and a mustache, wearing a green vest. To their right, a young girl in a purple dress holds a colorful flower, and a young boy in an orange shirt and green cap walks. A brown dog with a red collar is on a leash in the foreground. In the background, there are green trees and a cluster of colorful houses with red roofs. The entire scene is set within a circular frame on a light green background.

# 立ち上げの経過

# H18制度改正

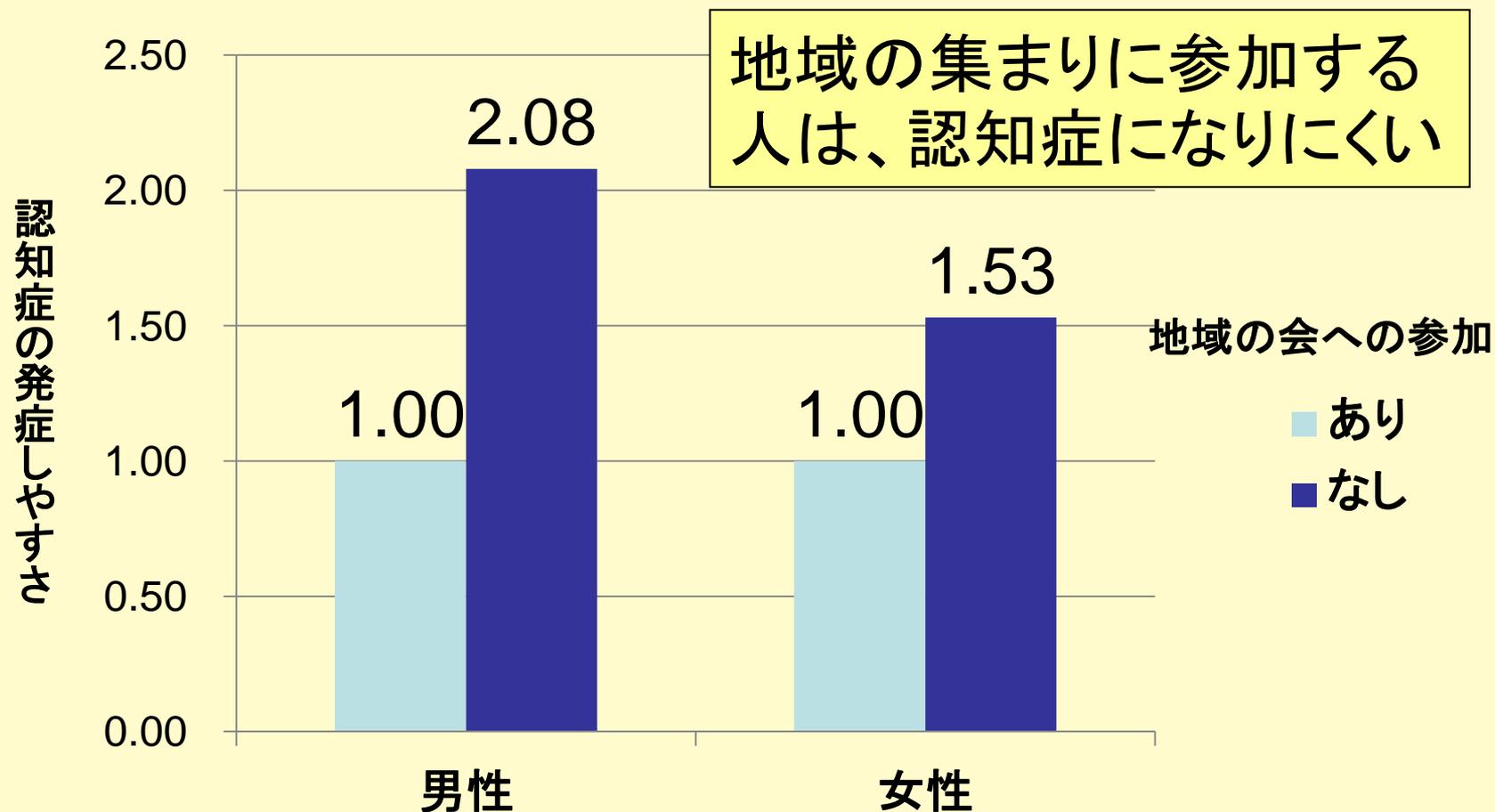
- 地域支援事業の新設
- 介護予防の重要性明記



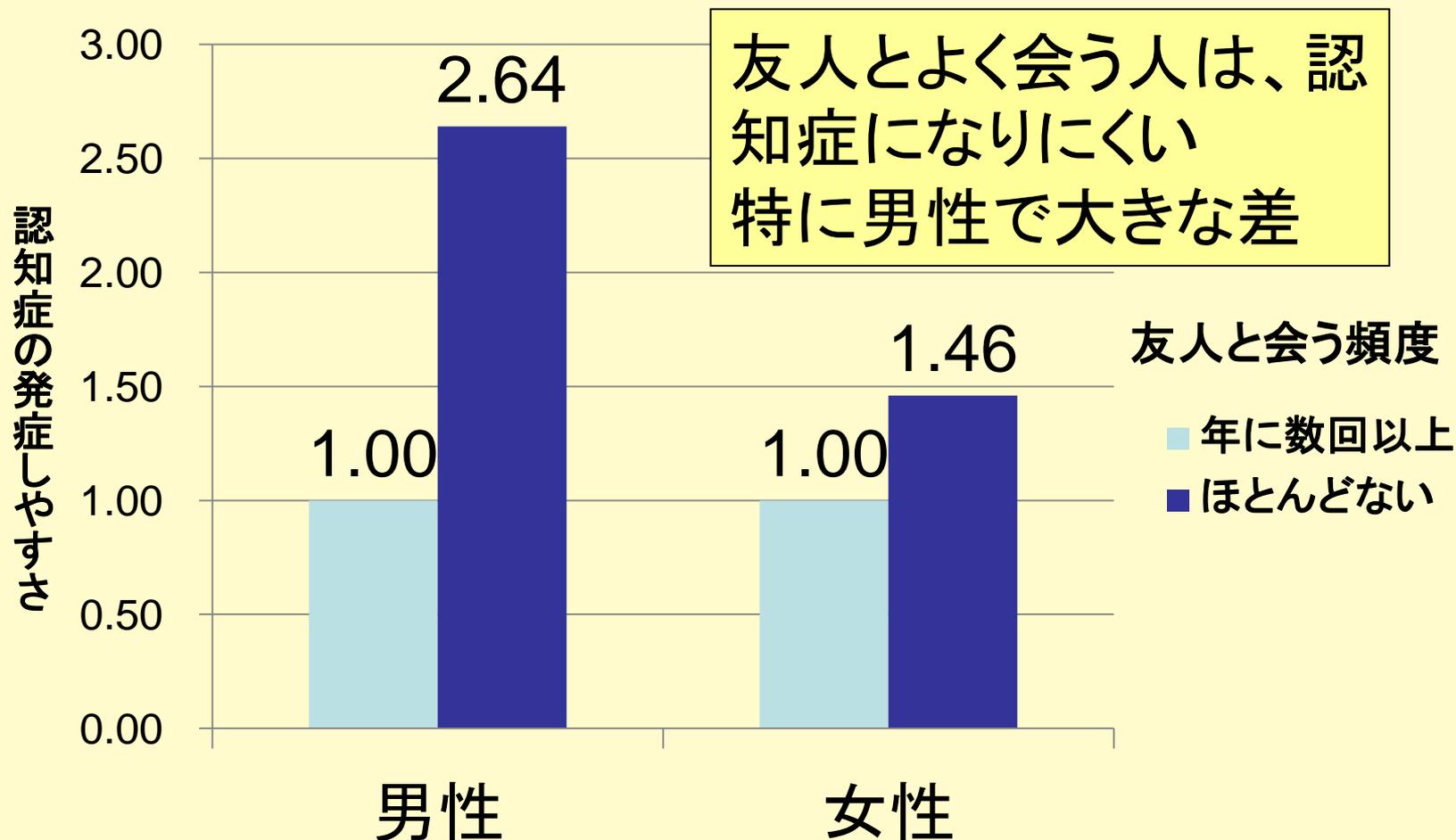
市町村の必須事業に！

一般・特定高齢者の2施策  
市町村独自の展開可能  
事業評価の要求

# 地域の会への参加と認知症発症 (3年間の追跡)



# 友人と会う頻度と認知症発症 (3年間の追跡)



# 要介護リスク者

- 趣味や社会参加がない
- 外出が少ない
- 健診・事業参加が少ない
- 遠方の事業には参加不能

→ リスク者が参加できる方法？

# 従来事業の課題

## 一般高齢者調査の分析結果

- ・ 予防事業参加者は会場から遠いほど減少
- ・ 新規要介護・死亡者の半数は無リスク者から

# 第3期介護保険 事業計画H18-20

介護予防事業として

高齢者サロンを明記

「一般高齢者施策を重視」

「高齢者の居場所を設置」

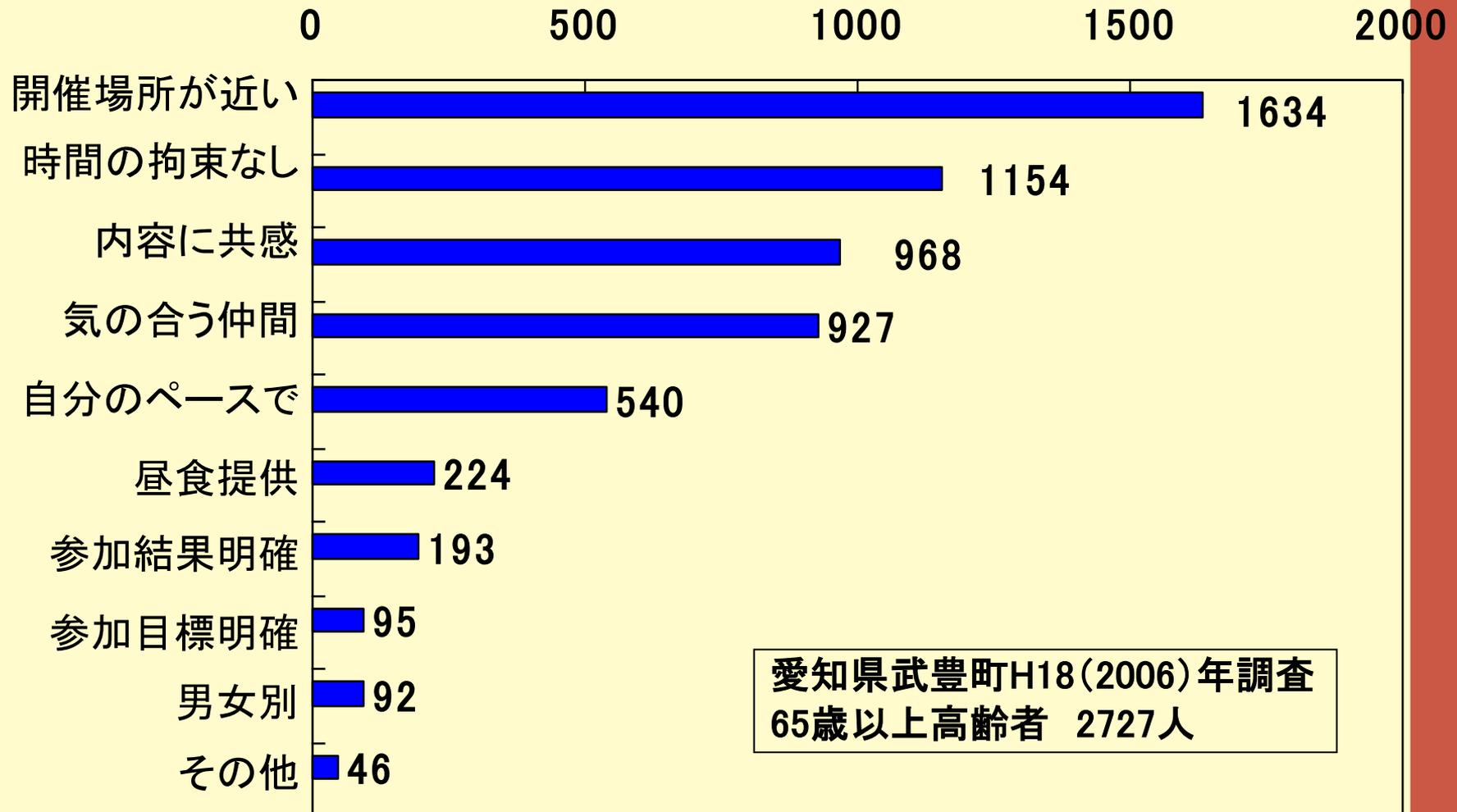
「住民主体の運営で推進」

# モデル事業準備

## 計画準備会議

- ・ H18（2006） 2～9月
- ・ 保健師、介護保険担当、社会福祉協議会、在宅介護支援センター＋大学
- ・ 基本理念の確認、先進事例見学  
55歳以上の調査実施

# 介護予防事業への参加条件 (人)



# サロン事業の方向性

- 拠点の充実（徒歩圏内）  
身近な会場で外出機会提供
- 地域住民による自立型  
社会参加の機会提供
- 行政による活動促進  
趣味・生きがいの提供



An illustration of a community scene. In the foreground, an elderly woman with glasses and a purple top stands next to an elderly man with glasses and a mustache. To their right, a young girl in a purple dress holds a colorful flower, and a boy in an orange shirt and green cap runs. A brown dog is in the foreground. In the background, there are colorful houses and trees. The scene is set within a circular frame on a light green background.

# 居民參加

# 事業協力者説明会

H18.10 参加62人

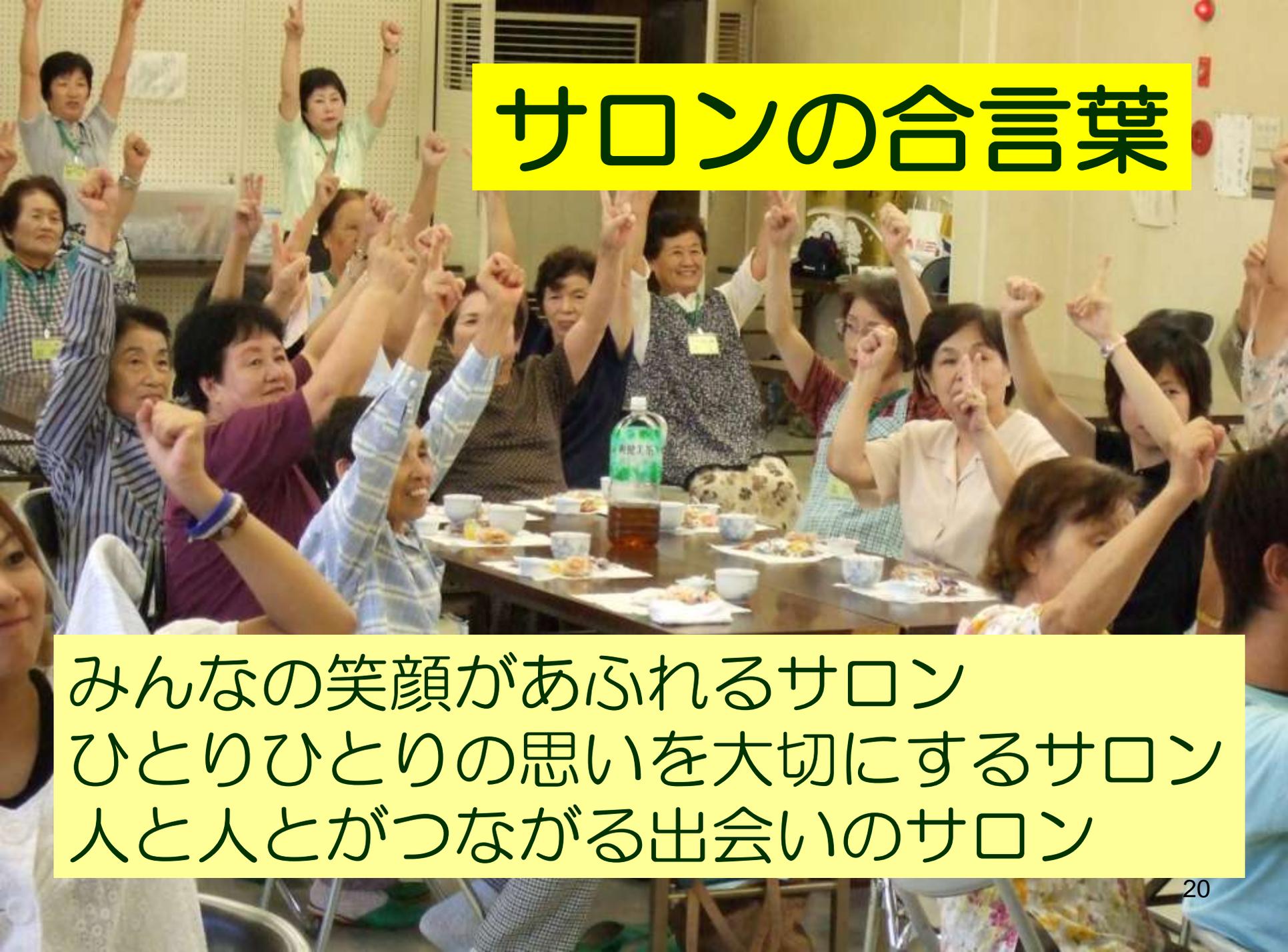
- ・ 7月アンケート調査で協力意向の高齢者（案内郵送）
- ・ 町広報の募集
- ・ 地域団体代表（保健推進、健康体操、食生活改善）

# ワークショップ(2回)

H18.11～ 約40名参加

- ・説明会後の協力可能者52名
- ・先行事例紹介、イメージ～  
合言葉決定、課題検討

→具体案策定の準備委員選出



# サロンの合言葉

みんなの笑顔があふれるサロン  
ひとりひとりの思いを大切に作るサロン  
人と人とがつながる出会いのサロン

# 会場決定・開所



H19.2~3 準備委員会

- ・代表8人と会議・見学
- ・具体案、候補会場選定

H19.3 ワークショップ

- ・40人で3会場決定

→会場開所準備へ

# サロンの概要

共通ルールは  
住民主体で決定



- ・一般高齢者

運営・出前ボランティア

- ・参加費1回100円

どこでも参加自由・予約不要

# 住民が主役

参加者

運営ボラ

健康づくり

ふれあい交流

地域の人

出前ボラ

武豊町と関係機関が支援

# 支援体制



地域包括支援センター中心  
(福祉・健康部門協力)

- ・ 会場運営・人材育成支援  
研修・広報・連絡会議
- ・ 各会場運営委員会に委託  
資金 (年46万) ・相談支援

# 第5次総合計画（H20～32）



- 高齢者の生きがいづくりを支援する
- 地域ぐるみで福祉を支える

# 会場の整備

総合計画の数値目標

H25 10ヶ所

H32 14ヶ所

- ・ 徒歩15分圏内
- ・ 実現可能な地域から
- ・ 会場組織づくりの支援



# 拠点の拡充



	H19	H20	H21	H22
会場数（会場）	3	5	7	8

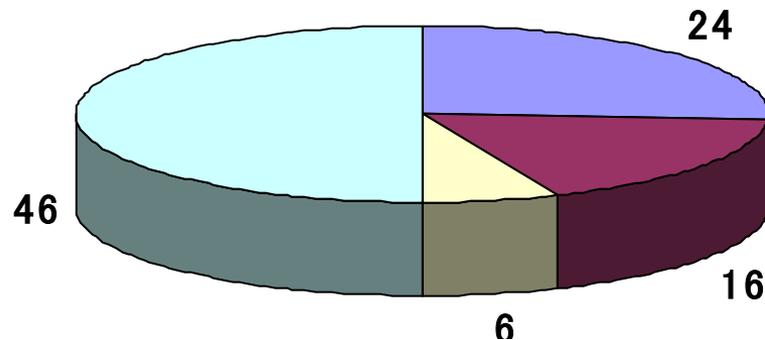
町内のどこかで毎週開所中

- ・ 複数会場参加 1割（ボラ4割）
- ・ 未開所地区も理解が深まる

H23 候補2地区に働きかけ中

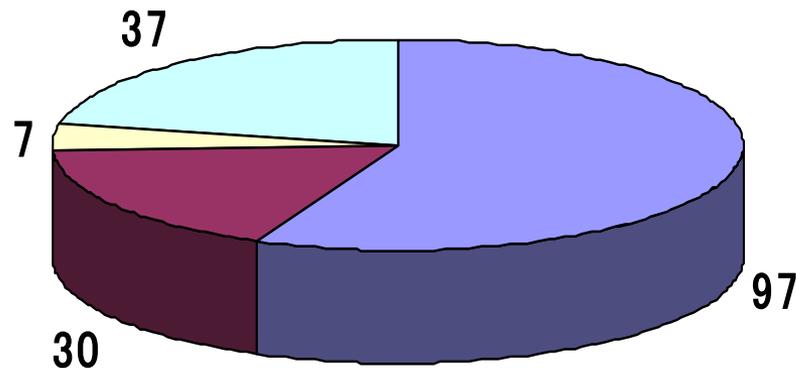
# 会場への通所手段と時間

ボランティア  
回答:92名



回答の5割が車  
すべてが15分圏

参加者  
回答:171名



回答の6割が徒歩  
9割が15分圏

■ 徒歩 ■ 自転車 ■ バイク ■ 自動車

H21(2009)年  
お元気チェック

A colorful illustration of a family walking in a park. In the foreground, an elderly woman with glasses and a pink dress walks alongside an elderly man with glasses and a green vest. To their right, a young girl in a purple dress holds a colorful flower, and a young boy in an orange shirt and green cap walks. A brown dog with a red collar is on a leash. In the background, there are green trees and a cluster of buildings with red roofs. The scene is set within a circular frame on a light green background.

# 会場・人づくり

# 1年目 H19



モデル地区決定

協力者40人→3会場へ

- ・ 準備委員会で会場案
- ・ 共通ルールをもとに  
各会場独自の運営案作成
- ・ 月1～2回、2～5時間

# 2年目 H20



## H19.9 ワークショップ

- ・ 76人で今後の会場検討
- ・ 次期会場2地区選定

## H19.10～ 会場準備会

- ・ 初代協力者＋新メンバー

# ここまでの課題

運営方法は確立したが・・・

- ・ 事業担当職員の負担大  
新規開所・既存会場支援の両立
  - ・ 地域組織との乖離  
区・民生委員の役割が曖昧
- 地域密着型を目指す

# 3年目以降 H21～

開所支援を一地区集中で

- ・ 最初に地区説明会開催  
区関係者・協力者への事業説明
- ・ 開所準備会  
地域の人材・店舗・特色を活用



# 開所式準備風景（H22）

# ボランティアの横顔

	H19	H20	H21	H22
年度末ボランティア登録者数（人）	89	125	155	177

25～59歳・・・7%

60～64歳・・・19%

65～69歳・・・40%

70～74歳・・・23%

75～86歳・・・11%

→ボランティアも予防対象者

# 人材の育成

- 運営協議会（隔月）  
各会場代表の連絡会・総会
- 研修（年4種13回）  
ボランティア研修（全員目標）  
レクリエーション研修・救命  
救急研修・傾聴ボラ研修  
→研修や会議も交流の場



# 事業の評価

# いきがい・健康アンケート

## いきがい・健康アンケート

本調査では皆様の社会生活状況や、ご気分を害しかねない「心理的な状態」についてお答えいただける項目など調べたいことまでおたずねしております。これらの項目は、働き方や認知症（痴呆）の予防に重要である可能性が示された項目です。ご回答いただく皆様には多大な負担をおかけしますが、なにとぞ調査の趣旨・将来的な意義をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



調査にご協力いただけますか？どちらか一つに○をつけてください

1. はい 2. いいえ

他の項目への回答は続行ですので、このままお進みいただけます。  
回答できる項目だけでも結構ですので、1以下の質問にご回答をお願いいたします。

【問1】「数値指標のサロン」についてお答えをお願いします。

1) あなたは「数値指標のサロン」を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない 3. わからない  
→ 3ページ目の【問2】までお進みください

2) 上ヶ地区サロンに参加したことがありますか。これまで何回程度参加しましたか。  
（※ボランティアとしての参加も含みます。）

1. 参加したことがない 2. 1～2回程度参加した 3. 3～5回程度参加した  
4. 6回以上参加した 5. わからない

3) 玉置地区サロンに参加したことがありますか。これまで何回程度参加しましたか。  
（※ボランティアとしての参加も含みます。）

1. 参加したことがない 2. 1～2回程度参加した 3. 3～5回程度参加した  
4. 6回以上参加した 5. わからない

4) 大足地区サロンに参加したことがありますか。これまで何回程度参加しましたか。  
（※ボランティアとしての参加も含みます。）

1. 参加したことがない 2. 1～2回程度参加した 3. 3～5回程度参加した  
4. 6回以上参加した 5. わからない

要介護認定を受けていない  
65歳以上の全町民を対象  
に、定期的に実施している  
調査です

どんな人が健康を維持しやす  
いか分析しています  
(分析／日本福祉大学)

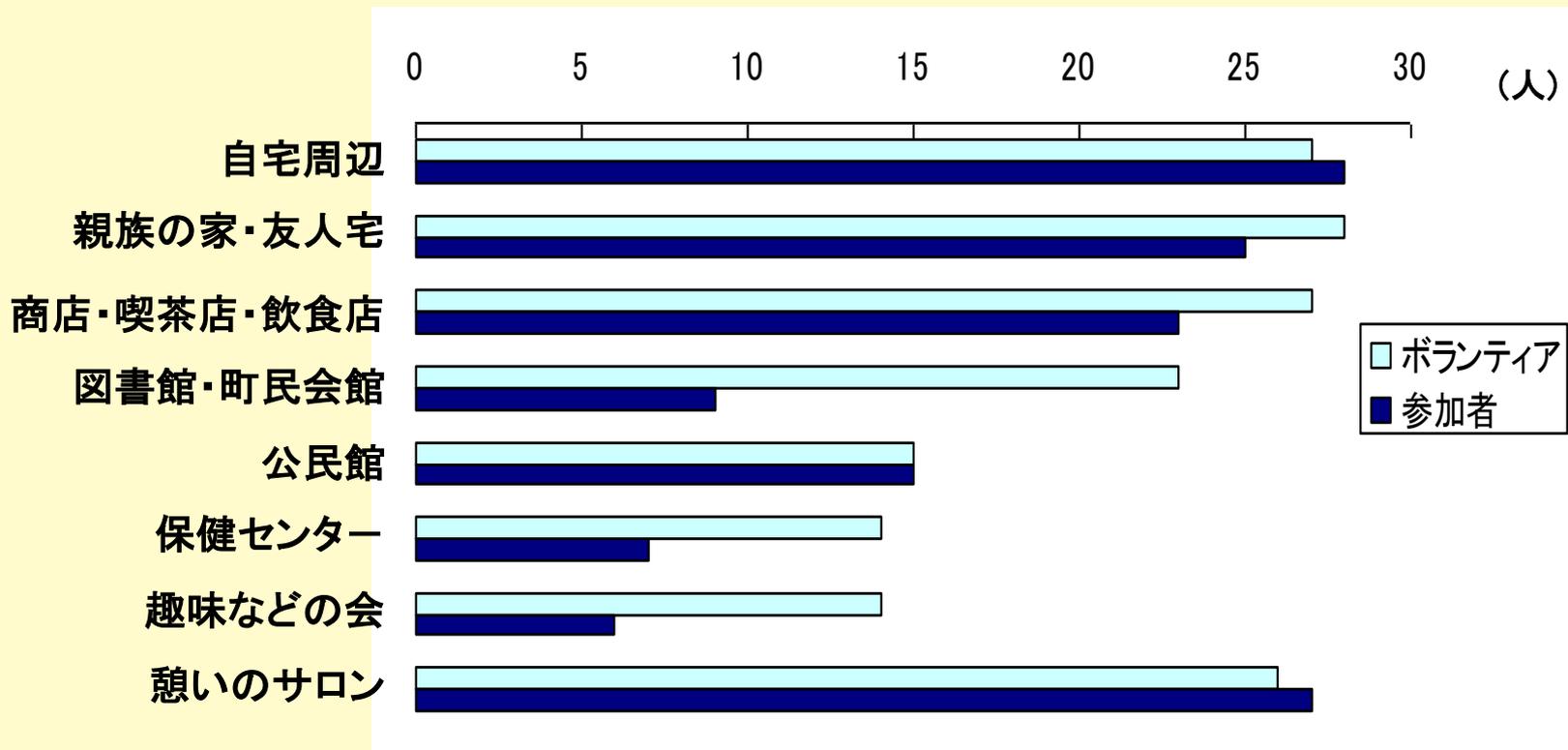
# お元気チェック

憩いのサロン参加者・ボランティアの健康状態について、定期的な調査分析を実施し、事業に役立てています  
分析／星城大学ほか

# 外出先の増加

ボランティア・参加者の3割が、  
サロン参加がきっかけで外出が増えたと回答

H21(2009)年  
お元気チェック

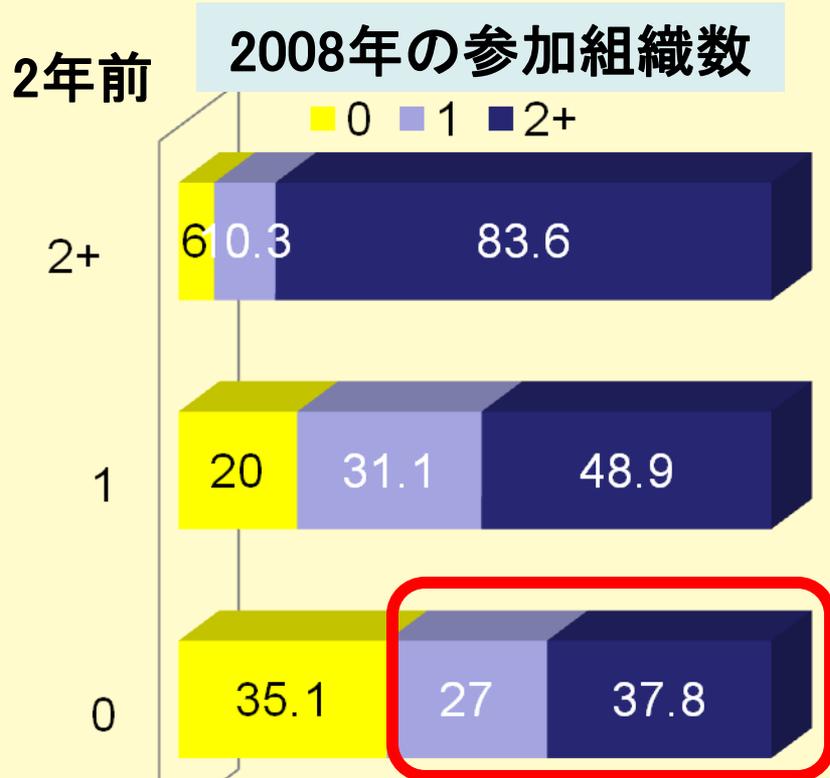


# 参加している地域組織数

町内会, スポーツ・趣味・宗教・ボランティア・政治・業界・市民団体  
H18(2006)~H20(2008)比較

非参加者 (n=1495)

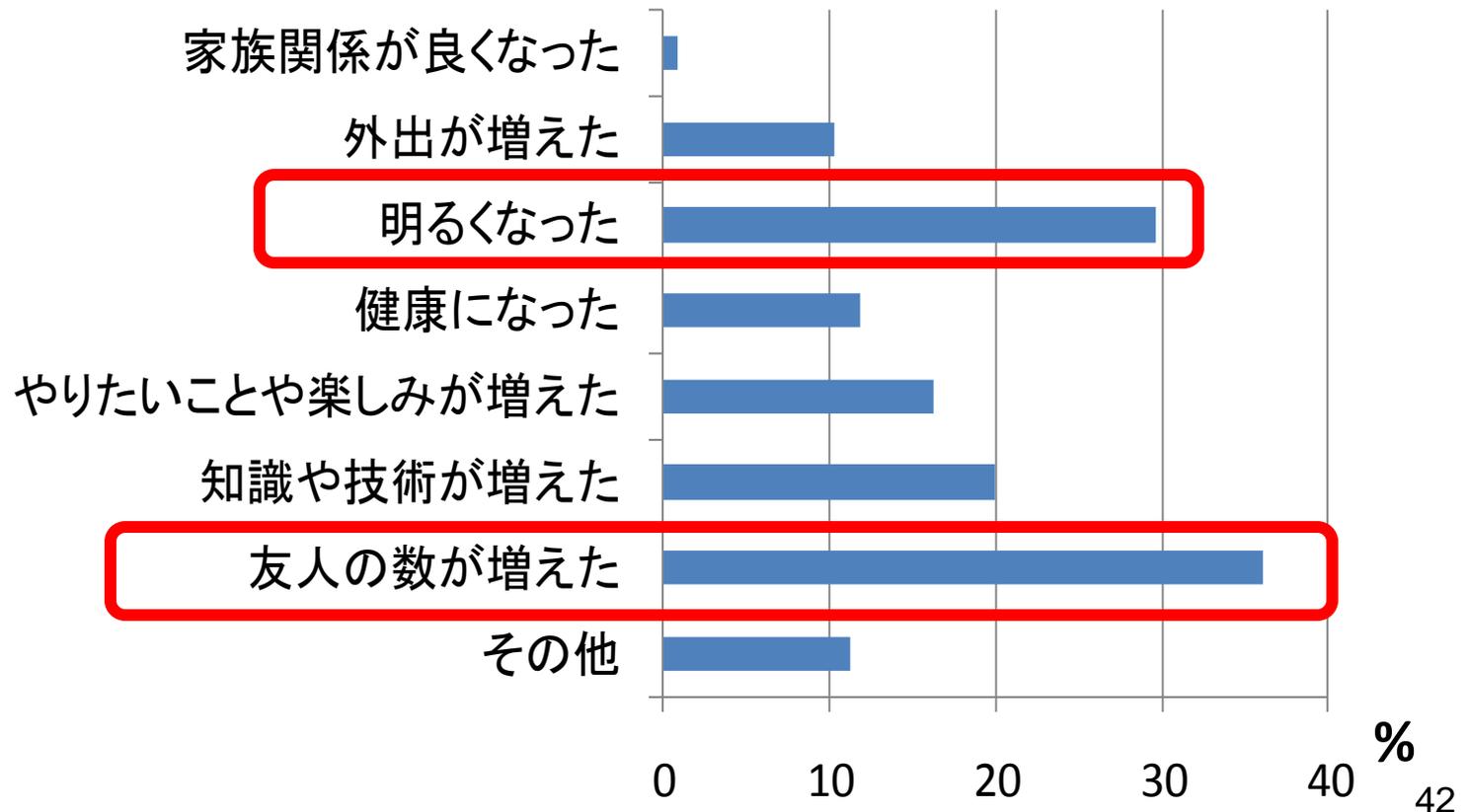
プログラム参加者 (n=198)



2年前の参加組織数が同じ群で比較しても  
事業参加者の参加組織数は増加

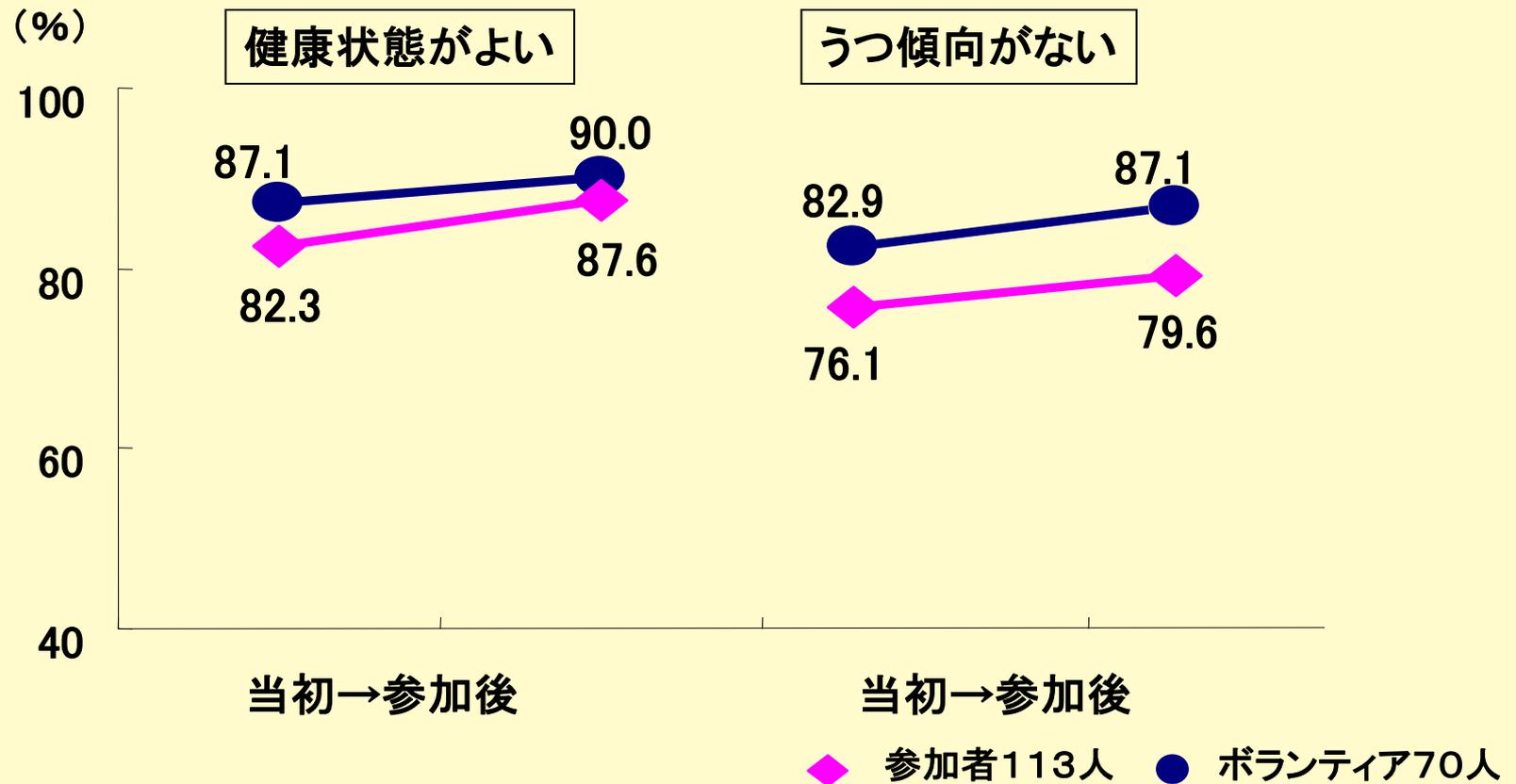
# 参加者における変化

H20(2008)アンケート回答3,459人中  
サロンに参加している321人



# 事業参加後の変化

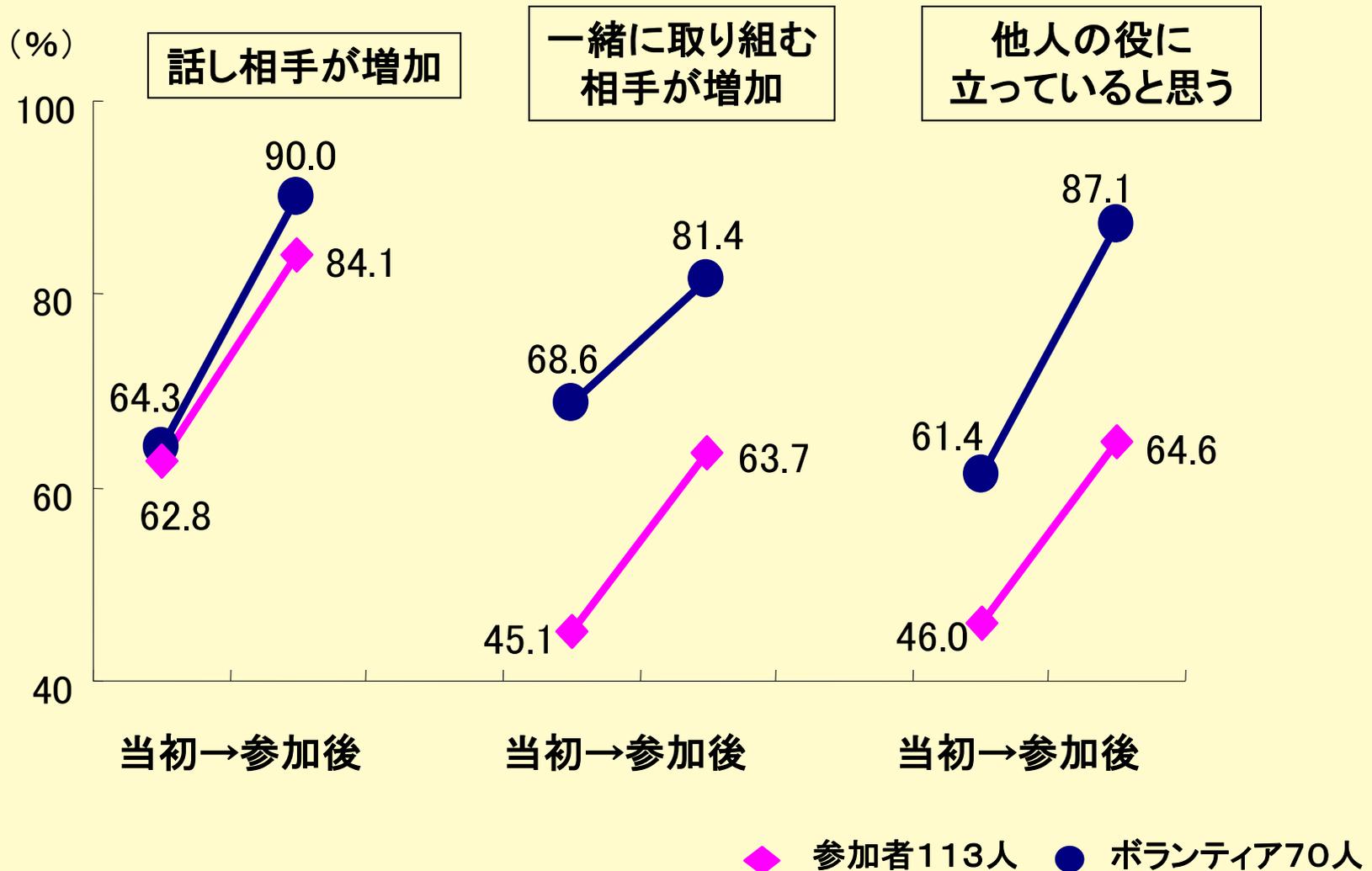
H19(2007)年~H21(2009)年



2回の調査を比較して、健康を損なうリスクが、  
全体的に維持・改善の方向へ向かっています

# 事業参加後の変化

H19(2007)年~H21(2009)年



# 健康関連情報の入手先

竹田他2011

	ボランティア		参加者	
	n=95	%	n=181	%
テレビ・ラジオ	68	71.6	104	57.5
病院の職員	50	52.6	86	47.5
町の広報	47	49.5	56	30.9
新聞	45	47.4	52	28.7
知人・友人	43	45.3	50	27.6
保健センター	41	43.2	58	32.0
本・雑誌	32	33.7	34	18.8
サロン	28	29.5	68	37.6
家族や親せき	20	21.1	31	17.1
インターネット	17	17.9	5	2.8
広告・チラシ	12	12.6	27	14.9
関連事業所	7	7.4	11	6.1

← サロンは  
貴重な  
情報源

2010お元気チェック



高齢者の社会参加に効果あり

# 評価結果



- 社会的サポートネット  
ワークの増加
  - 外出頻度増が3割
  - 主観的健康感維持
  - 3番目の健康情報源
- 健康維持・改善に期待

# 事業効果

## 高齢者が多数集まる場

二次予防対象者も抵抗なく参加  
健康・町政に関する啓発機会

## 地域の助け合い促進

世代間交流・地区役員の参加  
団塊世代の地域デビューの場

→認知症見守り・要援護者支援へ

# 第5期計画へ



介護予防、生きがいづくり、  
見守り活動の拠点

- ・ 二次予防→一次予防の受け皿
- ・ 地域の福祉力向上
- ・ 認知症理解・支援の啓発

地域支え合い体制づくりと連携

An illustration of a family in a village setting. In the background, there are several houses with red roofs and blue accents, and green trees. In the foreground, an elderly woman with glasses and a bun hairstyle stands next to an elderly man with glasses and a mustache. To their right, a young girl in a purple dress holds a colorful flower, and a young boy in a green and yellow cap runs happily. The scene is set against a bright yellow and green background with a soft glow.

楽しく無理なく  
介護予防